

The page is framed by a lush green foliage border, with leaves and branches extending from the top and bottom corners towards the center. The background is a light, bright green gradient.

VOL.62

【特集】

パチスロのお盆営業を考える

最新月次レポート／POKKA吉田の「パチンコ雑記」

 TRYSEM

VOL.62

パチスロのお盆営業を考える

TRYSEM プロジェクトチーム

2021年6月現在、パチスロの機械情勢は皆様ご承知のとおり厳しい状況となっています。一部では6.2号機の適合がアナウンスされ始めており期待を寄せるところではあります。現在の状況下でどのように次の繁忙期であるお盆商戦を迎えてパチスロ営業を展開していくべきなのでしょうか。

今月はこの点について、TRYSEMの全国データを活用して考察を深めていきたいと思っております。

繁忙期の顧客動向（パチスロ）を整理する

お盆商戦を考える上で、「コロナ禍 × 繁忙期」という特殊な環境下で迎えた今年のゴールデンウィークが、どのような状況になっていたかについて整理しておく必要があります。

4月19日週のデータを起点とし、4月26日週、また5月3日週、さらに連休が明けた5月10日週の「アウト」「延べ人数（遊技人数）」「1人あたりアウト（≒1人あたりの遊技時間）」に着目して、その推移を図表1としてデータにまとめてみましたのでご覧ください。

【図表1】

<4/19週を起点(100)とした各週の対比>

項目	区分	4/26週	5/3週	5/10週
		ゴールデンウィーク直前	ゴールデンウィーク	ゴールデンウィーク直後(平常週+入替)
アウト	4パチ	107.0	113.2	93.2
	1パチ	106.7	112.5	92.7
	20スロ	113.8	123.1	97.0
	5スロ	113.7	123.8	97.4
延べ人数	4パチ	104.6	112.0	91.1
	20スロ	106.6	111.6	91.8
1人あたりアウト	4パチ	99.8	102.3	99.6
	20スロ	103.0	108.9	101.0

※「延べ人数」「1人あたりアウト」はTRYSEMの客数データ(集計対象は4パチ・20スロのみ)

繁忙期に伸びるパチスロ【図表1参照】

繁忙期（およびその直前・直後）のアウトの変化を確認しますと、機械情勢が追い風にあるパチンコよりもパチスロの方が、当該期間における上昇率が高いことが確認できます。

さらに、ゴールデンウィークが明けた5月10日週を見ても、下降率はパチスロの方が小さくなっており、全体的にパチスロの方が良好な変動を見せていたと言えます。

このような結果となった要因を探る上で重要なのは「アウトの中身」です。つまり、アウトを構成する要素として「延べ人数」と「1人あたりアウト」がどのように変化し、「アウト」へ影響を与えたのが重要であるという事です。

パチンコ（4円パチンコ）とパチスロ（20円パチスロ）の「延べ人数」の変化を確認すると、繁忙期（およびその直前・直後）でそれほど大きな差を生じておらず、パチンコがパチスロに大きな遅れをとっていた様子は確認できません。

しかしながら、同様に「1人あたりアウト」の変化を確認しますと明らかに「パチスロ」の上昇率の方が高くなっており、当該期間中にはパチスロユーザーが粘り込んで遊技している様子が窺えます。つまり、繁忙期（およびその直前・直後）にパチンコよりもパチスロが伸びる理由は、プレイヤー1人あたりアウト（≒1人あたりの遊技時間）の増加という点にあり、これが大きな影響を与えているということになります。決してパチンコよりもパチスロの方が「集客力」が高かったという訳ではない点をしっかりと理解しておくべきでしょう。

【長期連休の傾向まとめ】

（アウト＝遊技人数 × 1人あたりアウト）

- ①アウト : パチンコ<パチスロ
- ②遊技人数 : パチンコ≒パチスロ
- ③1人あたりアウト : パチンコ<パチスロ

お盆商戦の市場状況を予測

顧客が増える可能性が高いセグメントとは？

TRYSEMの「週間客数データ」を活用し、個別単体機種を区分してまとめてデータを考察致しますと、5月3週（ゴールデンウィーク）の延べ人

【図表2】

	2021.0419～		2021.0503～		①②の比較	
	① 通常週		② ゴールデンウィーク		増 加 人 数	シ 全 2 エ 体 0 ア に ス 対 する
	延 べ 人 数	シ 全 2 エ 体 0 ア に ス 対 する	延 べ 人 数	シ 全 2 エ 体 0 ア に ス 対 する		
20スロ	111,058	100.0%	123,956	100.0%	12,898	0
5.5～5.9号機	11,115	10.01%	13,702	11.05%	2,587	+1.05
6.0～6.1号機 純増4枚以上	5,064	4.56%	5,980	4.84%	916	+0.26
6.0～6.1号機 純増4枚未満	8,887	8.00%	10,663	8.60%	1,776	+0.60
5.5～5.9号機 Aタイプ	57,541	51.81%	61,176	49.35%	3,635	-2.46
6.0～6.1号機 Aタイプ	12,990	11.70%	14,765	11.91%	1,775	+0.21
技術介入	3,581	3.22%	4,136	3.34%	555	+0.11
30Φ	11,880	10.70%	13,534	10.92%	1,654	+0.22

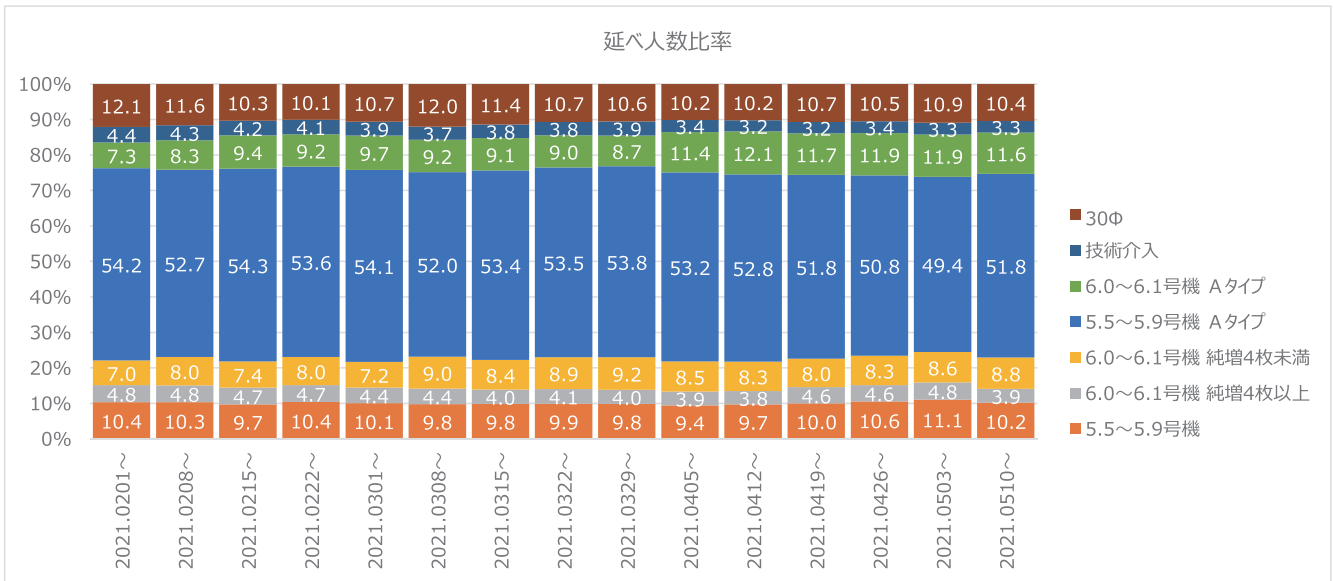
述べ人数の「実数」は最も増えたが、「シェア」はダウン

数合計は今年に入ってから最も大きな数値となり、パチスロにおいては、延べ人数の「増加数」が大きかったセグメントは「5.5～5.9号機Aタイプ」となっています。

しかしながら「5.5～5.9号機Aタイプ」については、延べ人数の「20スロ全体に対するシェア」では4月19日週を起点として見た場合、▲2.46ポイント減少しています。

整理しますと、繁忙期における「5.5～5.9号機Aタイプ」の遊技客の実数の増加数は他のタイプを凌いでおり、データ上は最も期待できそうに思われるものの、通常時から最も多く遊技客数（延べ人数）を抱えているセグメントであるが故、「20スロ全体に対するシェア」で見た場合、通常時よりもダウンするという現象が起きています。従いまして、「延べ人数の増加」を重視するのか、あるいは「シェアの増加」を重視するのか判断が重要となります。

ただ、「5.5～5.9号機Aタイプ」がゴールデン



ウイークのような繁忙期にシェアを伸ばせていない状況を鑑みると、「長期連休＝現・高射幸機に支持が集まる」という状況は、既に撤去された5.0号機残存時代と何ら変わらない傾向です。従いましてここから掘り下げたとしても、結局「高射幸」という結論にしか至りません。

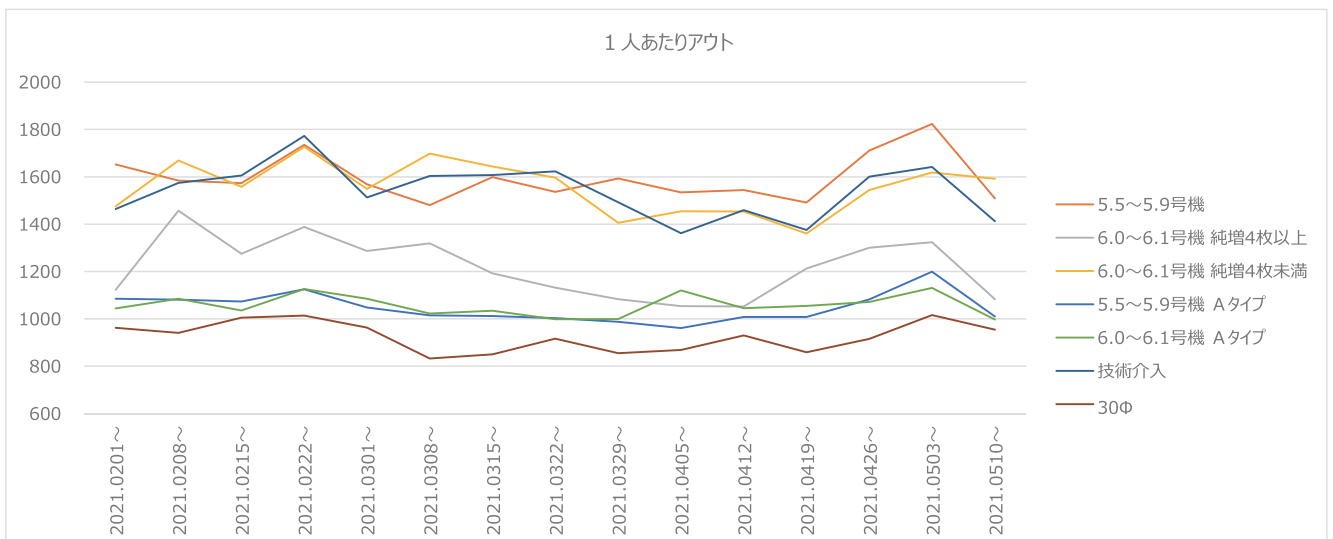
そこで考えるべき課題としては、“計画的撤去”を進めていかなければならない現在の環境下で、どのような入替戦略が求められるのかという点に焦点を当て、さらに掘り下げまとめていきたいと思ひます。

顧客の遊技時間(1人あたりアウト)が増える可能性が高いセグメントとは?

顧客の遊技傾向を重視する上で重要となる指標の一つである「1人あたりアウト」について注目しますと、ゴールデンウイーク期間中に全カテゴリ上昇していることが確認できます。この結果から、長期連休中に「遊技の質」が変化していること(＝遊技時間が伸びる傾向にあること)をお感じ頂けるかと思ひます。

「長期連休」と言えば「集客」ばかりに目が行

【図表4】「1人あたりアウト」の変動(20円パチスロ・タイプ別) ※2021年2月1日～ゴールデンウイーク明けまで



きがちですが、一秒でも長く遊技して貰える環境作りや仕掛けも並行して考える必要があると考えます。

また、「Aタイプ」のように「1人あたりアウト」が元々低い機種では、稼働（アウト）を構成する上で重要となる要素は「1人あたりアウト」よりも「延べ人数」にあるということになる訳ですから、「Aタイプ」の強化育成や、またアクションを起こす際には、顧客数が増えるタイミング（平日よりも休日）が効果的であると考えられます。

このように「遊技の質」を読み解き、セグメントごとにアプローチのかけ方を変えるなどの工夫が重要です。

お盆商戦で活躍する6.0～6.1号機の傾向

「遊技の質」の変化をご理解いただいた所で、より「遊技の質」に変化をもたらす顧客層を把握する上で、「60分以上遊技した顧客」の比率推移を確認してみます（図表5）。

ここでも「長期連休は、現・高射幸機に支持が集まる」といった状況が確認できます。また高射幸機以外で上昇しているのは「6.1号機～6.1号機（純増4枚未満）」のカテゴリと、微増ではあ

りますが「Aタイプ」また「30Φ」となっており、これらの結果から短時間勝負の高純増機種よりも、高確滞在時間が長めの機種の方が長く粘り込みやすい傾向にあると感じます。

つまり、高射幸機を好むユーザー以外の一定層の顧客ウォンツは「長く楽しみたい」という部分にあることになり、このような顧客層のニーズを満たす6.0号機～6.1号機の機種選定や運用提案が好ましいのではないかと感じます。

お盆商戦に「支持・貢献」が集まるセグメントを役割ごとに考える

ここまでは顧客の遊技傾向や遊技の質、また顧客ニーズなどをメインにまとめましたが、ここからは、売場面積の大小に問われず評価する事を目的とした、支持率・貢献率といった数値を活用しまとめていきたいと思えます。

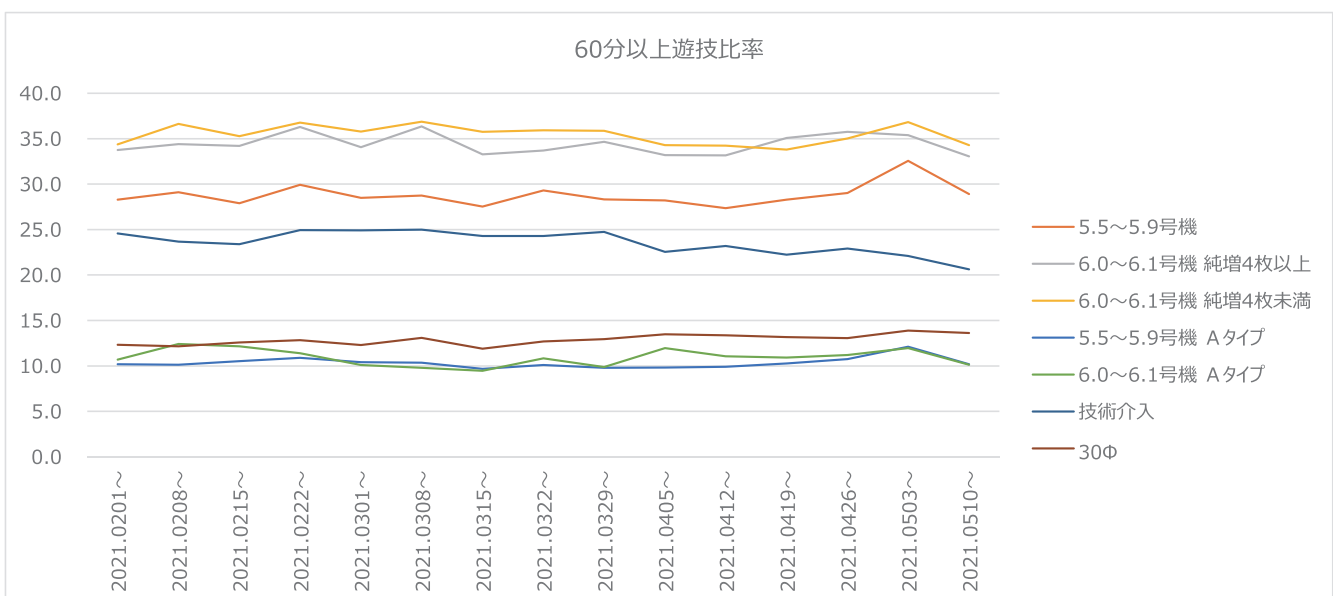
●打込み支持率

・打込み支持率＝打込みシェア ÷ 台数シェア

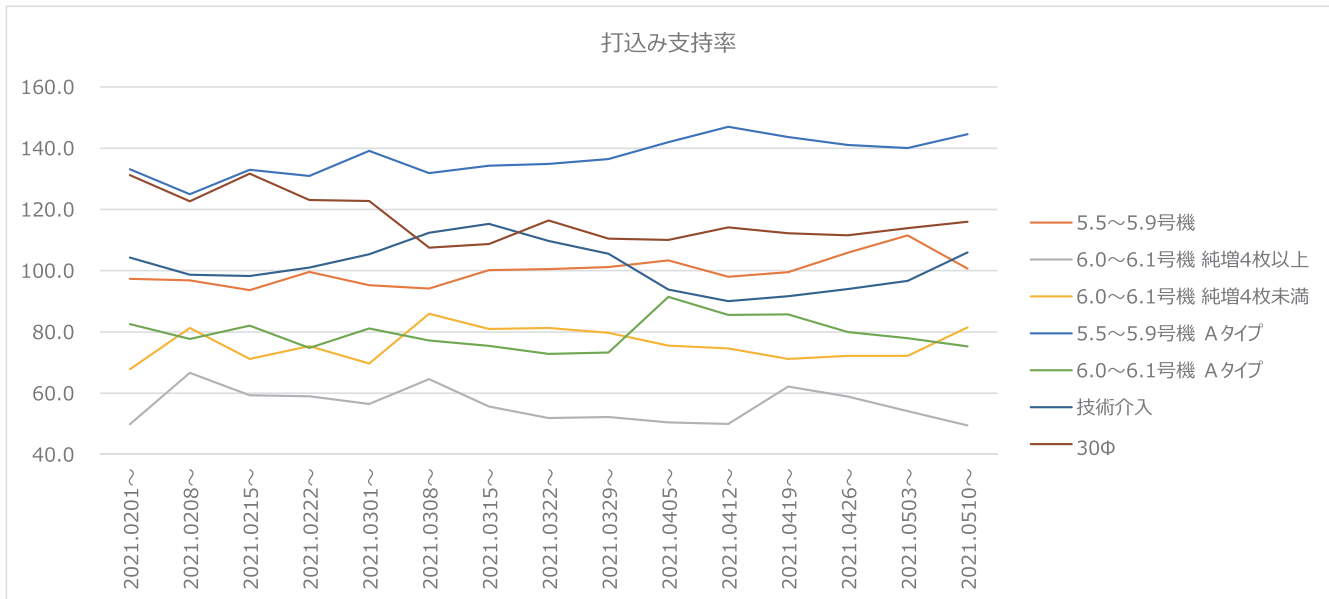
例：打込み支持率（300%）＝打込みシェア（3%）
÷ 台数シェア（1%）

意味：1台で3人の顧客を創出しているイメージ

【図表5】「60分以上遊技比率」の変動（20円パチスロ・タイプ別） ※2021年2月1日～ゴールデンウィーク明けまで



【図表6】「打ち込み支持率」の変動（20円パチスロ・タイプ別） ※2021年2月1日～ゴールデンウィーク明けまで



「打ち込み支持率」については、図表6（2月1日からゴールデンウィーク明けまでの推移）および図表7（ゴールデンウィーク前・通常週とゴールデンウィークの比較）としてデータを掲載しています。

図表7の変化を見ると、「5.5～5.9号機」が+12.0ポイントと最も上昇率が高くなっています。一方で「6.0～6.1号機 純増4枚以上」と「6.0～6.1号機 Aタイプ」は共に8ポイント近いダウンとなっており、やはりここでも現・高射幸機に支持が集まっている状況が確認できます。

ところで、「技術介入機」が長期連休に上昇するという傾向は、今回のゴールデンウィークに限らず、過去にも確認されており、長期連休期間中には特有の顧客心理が生まれている可能性があると考えています。それは、「長期連休≒店が儲ける」というイメージにより、（普段は「技術介入機」をメインとして遊技しないプレイヤーも）、どうせ勝ちにくい環境であるならば自分の腕次第で出玉率100%以上を目指す事ができる「技術介入機」を選択するというものです。

「打ち込み支持率」という数値を活用することで単純に「高射幸性」「技術介入」というキーワー

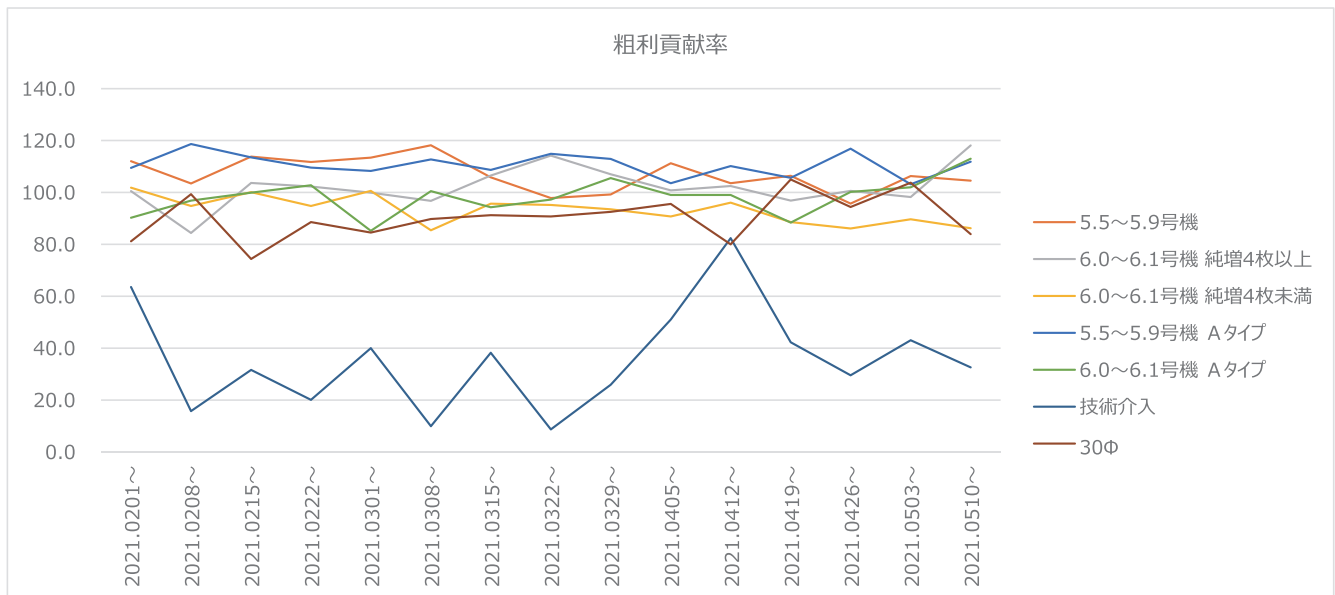
【図表7】「打ち込み支持率」の変動

	2021.0419～	2021.0503～	①②の比較
	① 通常週	② ゴールデンウィーク	
5.5～5.9号機	99.5%	111.5%	+12.0
6.0～6.1号機 純増4枚以上	62.2%	54.2%	-8.0
6.0～6.1号機 純増4枚未満	71.2%	72.2%	+1.0
5.5～5.9号機 Aタイプ	143.7%	140.0%	-3.6
6.0～6.1号機 Aタイプ	85.8%	78.0%	-7.8
技術介入	91.7%	96.7%	+5.0
30Φ	112.2%	113.9%	+1.7

ドだけで判断するのではなく、具体的に支持がどこに、どの程度集まりやすいのかなど、様々な視点から掘り下げることが可能となります。

今回はセグメントという括りで考察しましたが、個別単体機種で分析することでさらに掘り下げた評価が可能となります。お盆商戦の戦略立案のみならず、通常の機種別戦略の立案にも有益かと思われまますのでご活用頂ければと思います。

【図表8】「粗利貢献率」の変動（20円パチスロ・タイプ別） ※2021年2月1日～ゴールデンウィーク明けまで



●粗利貢献率＝粗利シェア ÷ 売上シェア

例：粗利貢献率（200%）＝粗利シェア（2%） ÷
売上シェア（1%）

意味：1台で2台分の粗利を創出できているイメージ

「打ち込み支持率」については、図表8（2月1日からゴールデンウィーク明けまでの推移）および図表9（ゴールデンウィーク前・通常週とゴールデンウィークの比較）としてデータを掲載しています。

図表9の変化を見ると、「6.0～6.1号機 Aタイプ」が大きく上昇しており（赤丸部分）、この結果の良否を判定する事は別としても、このタイプに該当する機種については粗利にウエイトを置いた運用が行われていたことが分かります。当然このような運用である以上、「打ち込み支持率」は前ページに掲載した通り下降することになります。

このような運用となる背景には「5.5～5.9号機 Aタイプ」との共存という部分がかかっているものと考えられ、実際このような数値を見ると、今年のゴールデンウィーク時点での運用基準は明らかで、それは「6.0～6.1号機 Aタイプの育成を先延ばししてでも、今は収益を優先する」といっ

【図表9】「粗利貢献率」の変動

	2021.0419～	2021.0503～	①②の比較
	① 通常週	② ゴールデンウィーク	
5.5～5.9号機	106.4%	106.3%	-0.1
6.0～6.1号機 純増4枚以上	96.8%	98.3%	+1.4
6.0～6.1号機 純増4枚未満	88.6%	89.6%	+1.1
5.5～5.9号機 Aタイプ	105.6%	103.2%	-2.5
6.0～6.1号機 Aタイプ	88.4%	102.0%	+13.6
技術介入	42.2%	43.0%	+0.8
30φ	105.0%	103.7%	-1.3

たものです。

この辺りの舵取りはそれぞれの店舗により異なるものと思われ、本来は自店に適した選択をするべきであり、「粗利貢献率」に関しても、一度自店の数値を整理してみることで、新たな発見があるかもしれません。

TRYSEM プロジェクト 各担当者の見解



お盆商戦に向けて、顧客の遊技傾向・顧客遊技の質・支持率・貢献率の視点を用いて有効策を考える事がポイントであると感じます。その中で計画的撤去を前提として入替戦略を考える上で、6.0～6.1号機の機種選定が大きな課題となりますが、今回の分析結果から見て「6.0～6.1号機 純増4枚未満」の機種の方が良い傾向にあり機種選択の上では一つの判断材料になるのではないのでしょうか。ただ粗利貢献率という視点で見ると「6.0～6.1号機 純増4枚以上」のセグメントの方が高く、さらに繁忙期の上昇率も高い数値を示しており粗利を稼ぐという視点では必要な機械であると考えます。つまり、このようにして役割別に評価する事で、売場面積の取り方、商品陳列の仕方、また仕掛けるタイミングなど考える要素として多岐に亘って存在する訳ですから「パチスロの機械が悪い」という結論だけで片づけるのではなく、今できる最善策を検討する必要があると感じます。

次の長期休暇であるお盆営業を考えるために、ゴールデン WEEK の実績を検証しました。延べ人数比率・打込み支持率共に「5.5～5.9号機」が1番伸びています。長期休暇では、普段仕事帰りに遊技する人も早い時間から遊技できるので、1人あたりの遊技時間が伸びます。そのため比較的遊技時間が長くなる「5.5～5.9号機」の需要が高くなっているようです。しかし、このジャンルの機種は近い将来撤去されていく機種です。短期的には良い結果を出しても、先細りになってしまうのが悩みどころです。次のお盆はまだ「5.5～5.9号機」を中心とした営業で良さそうですが、次のゴールデン WEEK には状況が変わっています。今回のデータでも比較的いい結果が出ていた「6.0～6.1号機 純増4枚未満」の機種に移行していくのか、または思い切ってパチンコ・スロットの比率を変更するのか、周辺地域や自店舗の環境にあった対策が必要になります。



TRYSEM プロジェクト
上席研究員 DRO 元



TRYSEM プロジェクト
上席研究員 柚木 正徳

月次データ (パチンコ)



集計対象期間：2021年5月1日～5月31日

パチンコ全体	遊技種\項目	台数 シェア	アウト	台売上	台粗利	玉粗利	玉単価	稼働 時間	時間 粗利	粗利 シェア	
	4パチ	32.4%	7,690	13,400	2,380	0.31	1.74	1.5	1,540	40.9%	
	2パチ	0.9%	6,890	5,420	1,130	0.16	0.79	1.4	820	0.5%	
	1パチ	24.6%	13,240	4,570	1,110	0.08	0.35	2.7	420	14.5%	
	0.5パチ	1.8%	14,060	2,000	680	0.05	0.14	2.8	240	0.7%	
	パチンコ	59.7%	10,160	9,300	1,790	-	-	2	880	56.6%	
※アウト、売上、粗利データには上記以外のレートが含まれております。											
4パチ	機種 タイプ1	ミドル	40.3%	8,170	15,310	2,560	0.31	1.87	1.6	1,560	45.4%
		319ミドル	4.8%	13,300	24,730	3,220	0.24	1.86	2.7	1,210	6.8%
		旧ミドル	13.4%	4,530	8,280	1,620	0.36	1.83	0.9	1,780	9.5%
		ライトミドル	20.2%	6,600	11,060	2,190	0.33	1.68	1.3	1,650	19.4%
		ライト	21.3%	6,520	9,340	2,020	0.31	1.43	1.3	1,540	18.9%
	機種 タイプ2	確変機	18.4%	7,400	11,830	1,760	0.24	1.60	1.5	1,180	14.3%
		ST機	13.1%	6,810	10,190	1,860	0.27	1.50	1.4	1,360	10.8%
		V-ST機	28.7%	6,040	10,800	1,980	0.33	1.79	1.2	1,630	25.0%
		V-確変機	8.3%	8,050	14,750	2,600	0.32	1.83	1.6	1,610	9.5%
		確変機(転落タイプ)	1.3%	3,300	5,660	1,350	0.41	1.72	0.7	2,040	0.8%
		1種2種混合	28.9%	8,710	16,370	3,040	0.35	1.88	1.7	1,740	38.7%
		羽根物	0.8%	5,710	5,380	1,710	0.30	0.94	1.1	1,490	0.6%
		一般電役	0.2%	4,120	6,250	1,930	0.47	1.51	0.8	2,330	0.2%
特殊(リミット機)	0.3%	3,190	6,230	2,230	0.70	1.95	0.6	3,480	0.3%		
2パチ	機種 タイプ1	ミドル	33.0%	5,990	5,780	1,150	0.19	0.96	1.2	960	33.6%
		319ミドル	2.0%	8,530	8,070	1,810	0.21	0.95	1.7	1,060	3.2%
		旧ミドル	0.5%	310	360	120	0.39	1.15	0.1	1,930	0.1%
		ライトミドル	28.9%	6,260	4,950	1,020	0.16	0.79	1.3	810	26.0%
		ライト	35.6%	8,240	5,400	1,180	0.14	0.66	1.7	710	37.2%
	機種 タイプ2	確変機	20.7%	5,610	3,960	710	0.13	0.71	1.1	630	13.0%
		ST機	24.9%	8,400	5,810	1,100	0.13	0.69	1.7	650	24.2%
		V-ST機	14.4%	6,120	5,210	1,280	0.21	0.85	1.2	1,040	16.3%
		V-確変機	7.1%	6,110	4,880	680	0.11	0.80	1.2	550	4.3%
		確変機(転落タイプ)	2.6%	3,780	3,220	950	0.25	0.85	0.8	1,250	2.2%
		1種2種混合	28.4%	7,220	6,650	1,540	0.21	0.92	1.4	1,060	38.6%
		羽根物	1.1%	10,200	3,880	1,180	0.12	0.38	2.0	580	1.2%
		一般電役	0.4%	7,380	3,980	660	0.09	0.54	1.5	450	0.2%
特殊(リミット機)	0.4%	6,070	5,820	340	0.06	0.96	1.2	280	0.1%		
1パチ	機種 タイプ1	ミドル	20.0%	10,850	4,660	1,120	0.10	0.43	2.2	510	20.9%
		319ミドル	1.2%	14,740	6,010	1,360	0.09	0.41	3.0	460	1.5%
		旧ミドル	17.1%	8,910	3,350	870	0.10	0.38	1.8	490	13.8%
		ライトミドル	18.2%	12,570	4,590	1,140	0.09	0.37	2.5	450	19.4%
		ライト	43.5%	14,580	4,480	1,090	0.07	0.31	2.9	370	44.3%
	機種 タイプ2	確変機	22.2%	12,820	4,300	980	0.08	0.34	2.6	380	20.3%
		ST機	26.8%	14,830	4,640	1,090	0.07	0.31	3.0	370	27.2%
		V-ST機	29.6%	10,290	3,830	1,010	0.10	0.37	2.1	490	28.0%
		V-確変機	6.2%	11,510	4,260	1,130	0.10	0.37	2.3	490	6.6%
		確変機(転落タイプ)	1.5%	9,460	3,730	980	0.10	0.39	1.9	520	1.4%
		1種2種混合	12.9%	13,180	5,310	1,320	0.10	0.40	2.6	500	15.9%
		羽根物	0.3%	11,050	2,200	550	0.05	0.20	2.2	250	0.2%
		一般電役	0.3%	13,760	4,320	900	0.07	0.31	2.8	330	0.3%
特殊(リミット機)	0.1%	7,570	2,580	1,080	0.14	0.34	1.5	710	0.1%		
0.5パチ	機種 タイプ1	ミドル	18.3%	11,430	1,860	590	0.05	0.16	2.3	260	15.5%
		319ミドル	1.3%	17,540	2,310	490	0.03	0.13	3.5	140	0.9%
		旧ミドル	31.8%	15,470	1,830	740	0.05	0.12	3.1	240	33.7%
		ライトミドル	16.3%	11,810	1,740	650	0.05	0.15	2.4	270	15.2%
		ライト	32.3%	16,600	2,190	750	0.05	0.13	3.3	230	34.8%
	機種 タイプ2	確変機	20.9%	13,490	1,890	640	0.05	0.14	2.7	240	19.3%
		ST機	19.5%	16,950	2,270	740	0.04	0.13	3.4	220	20.8%
		V-ST機	41.1%	15,360	1,920	750	0.05	0.13	3.1	240	44.3%
		V-確変機	6.2%	12,720	1,980	610	0.05	0.16	2.6	240	5.4%
		確変機(転落タイプ)	1.3%	12,420	1,800	700	0.06	0.14	2.5	280	1.3%
		1種2種混合	10.1%	10,200	1,580	560	0.06	0.15	2.0	270	8.1%
		羽根物	0.3%	12,780	1,210	380	0.03	0.09	2.6	150	0.2%
		一般電役	0.3%	23,630	2,890	740	0.03	0.12	4.7	160	0.3%
特殊(リミット機)	0.3%	7,520	720	460	0.06	0.10	1.5	300	0.2%		

月次データ (パチスロ)



集計対象期間：2021年5月1日～5月31日

パチスロ全体	遊技種\項目	台数シェア	アウト	台売上	台粗利	コイン粗利	コイン単価	稼働時間	時間粗利	粗利シェア	
	20スロ	33.3%	5,040	13,310	2,260	0.45	2.64	2.5	890	39.9%	
	10スロ	1.1%	3,890	5,520	1,250	0.32	1.42	2.0	640	0.7%	
	5スロ	4.3%	6,060	4,410	850	0.14	0.73	3.1	280	2.0%	
	2スロ	0.8%	8,040	2,580	520	0.07	0.32	4.1	130	0.2%	
	パチスロ	40.3%	5,170	11,780	2,030	-	-	2.6	780	43.4%	
※パチスロの全体シェアは、上記レート以外の部分を含んでいます。売上、粗利データも同様です。											
20スロ	機種タイプ	A	38.7%	6,910	16,540	3,020	0.44	2.39	3.5	870	51.7%
		AT	44.8%	3,090	9,450	1,570	0.51	3.06	1.6	1,010	31.0%
		ART	3.4%	3,930	11,950	1,860	0.47	3.04	2.0	940	2.8%
		A+ART	13.2%	6,450	17,310	2,490	0.39	2.68	3.3	760	14.6%
	Aタイプ内訳	ジャグラー	75.2%	9,060	22,180	4,180	0.46	2.45	4.6	910	86.0%
		沖スロ	16.9%	4,490	11,670	2,160	0.48	2.60	2.3	950	10.0%
		ニューパルサー	2.0%	3,100	8,830	2,170	0.70	2.85	1.6	1,390	1.2%
その他Aタイプ		5.9%	3,890	11,040	1,760	0.45	2.84	2.0	900	2.8%	
10スロ	機種タイプ	A	22.3%	5,390	6,680	1,700	0.32	1.24	2.7	620	30.4%
		AT	56.1%	2,750	4,280	960	0.35	1.56	1.4	690	43.2%
		ART	5.9%	3,160	4,670	1,070	0.34	1.48	1.6	670	5.1%
		A+ART	15.7%	6,100	8,630	1,700	0.28	1.41	3.1	550	21.3%
	Aタイプ内訳	ジャグラー	38.7%	6,870	9,600	3,180	0.46	1.40	3.5	920	61.9%
		沖スロ	45.3%	4,060	5,300	1,460	0.36	1.31	2.1	710	33.3%
		ニューパルサー	3.2%	5,630	6,410	810	0.14	1.14	2.8	280	1.3%
その他Aタイプ		12.7%	3,390	4,990	540	0.16	1.47	1.7	320	3.5%	
5スロ	機種タイプ	A	14.9%	8,100	4,890	1,080	0.13	0.60	4.1	260	18.9%
		AT	64.3%	4,990	3,850	760	0.15	0.77	2.5	300	57.0%
		ART	6.6%	5,580	4,210	810	0.14	0.75	2.8	290	6.2%
		A+ART	14.2%	9,000	6,530	1,070	0.12	0.73	4.5	240	17.8%
	Aタイプ内訳	ジャグラー	52.9%	11,170	7,250	1,700	0.15	0.65	5.6	300	63.3%
		沖スロ	25.2%	8,140	4,790	1,190	0.15	0.59	4.1	290	21.2%
		ニューパルサー	7.4%	7,850	5,280	1,140	0.14	0.67	4.0	290	5.9%
その他Aタイプ		14.5%	5,530	3,620	940	0.17	0.65	2.8	340	9.6%	
2スロ	機種タイプ	A	14.4%	9,150	2,590	590	0.06	0.28	4.6	130	16.2%
		AT	65.2%	7,450	2,460	490	0.07	0.33	3.8	130	61.2%
		ART	6.5%	7,690	2,660	540	0.07	0.35	3.9	140	6.7%
		A+ART	13.9%	9,830	3,100	600	0.06	0.32	5.0	120	15.9%
	Aタイプ内訳	ジャグラー	38.4%	12,010	3,540	1,030	0.09	0.29	6.1	170	52.7%
		沖スロ	36.3%	12,310	3,360	580	0.05	0.27	6.2	90	28.1%
		ニューパルサー	8.1%	13,360	4,170	800	0.06	0.31	6.7	120	8.6%
その他Aタイプ		17.2%	6,750	1,910	460	0.07	0.28	3.4	130	10.6%	



POKKA 吉田の ぱちんこ雑記

寄稿：POKKA 吉田



遊タイムの是非を論じる「くだらなさ」

遊タイムなどの bc 時短やリミッタ緩和が適用されてから一年と少しが経過した。

さて、遊タイムについての是非をいろいろ議論するという機会がこの一年間は業界関係者の間で多かったのではないだろうか。私はこの議論みたいなものは、はじめの段階から可能な限り避けている。極めてくだらないからだ。

遊技機の能力の結論が遊タイムの良し悪しに仮にあるとすれば「遊タイム機はすべて営業成績好調」とか「遊タイム機はすべて営業成績低迷」となる。しかし実際は、遊タイム搭載機であれ非搭載機であれ、営業成績好調のものと低迷のものがある。そして当たり前だが「今のぱちんこ市場において営業成績が好調の機種の数はかなり少ない」のだから評価すべき機種がたとえいくつあっても、それぞれが遊タイムの有無があって、というだけの話。

つまり、遊タイムの有無は市場評価において何かしら影響を与えているということは現時点では言えない。しかし、業界巷間では遊タイムに否定的な評価を与える人がまだまだ多いようだ。ならば入れなければいいのだが。

性能にはそれぞれ長所短所がある。ST は客にとって結論がはやくて突入と継続とで確率を変えて ST 電サポ発動時の期待出玉を高く設計することが容易である一方で、非突入時の客の落胆も大きくなる。ループタイプは設計次第ではあるが、最低限の出玉（今なら最大で 1,500 個）を必ず担保するように設計することが可能だが、ST のような 80%超機の電サポ時出玉性能をアピールするこ

とは難しい。小当たり RUSH は傾斜値が低い（純増スピードが遅い）が内部外れ（つまり RUSH 継続）が続けばずっとじわじわ続くということで間違った出玉が出たときの驚きは客の立場としてはとても大きく面白いものの RUSH がすぐに終了したときの落胆も大きい。

同じように遊タイム機は、遊タイム設計に左右されるが発動までの回転数によって客から見た出玉率期待というか、初当たりまでの平均投資金額がかなり変わってくる。このためハイエナのような遊技スタイルを選択する若い客が増える一方で、人気がない機種の場合は同じような回転数（電サポ終了後即やめ）で放置されてしまうことも目立つ。ただし、客からすると「一日遊技して 5～7 万円も消費して一度も大当たりしなかった」という確率を大幅に減らすことができるというメリットもある。

特 1 特 2 のラウンド振り分けやそれぞれの仕様の詳細な設計によって、遊技機の性能は大きく変わることは言うまでもない。遊タイム一つとっても混合機ならむしろ遊タイム発動直前で大当たりするのは負けである。良いか悪いかはこういったレギュレーション上、可能になった性能カテゴリにはあらず、当該機種の設計や出玉性能以外の部分のところにたくさんの理由が多層に重なっているのだ。

遊タイムの是非を論じるのは私にとっては甘デジの是非を論じる行為に等しい。そろそろこういう極めてくだらない話は業界からなくなってほしいものである。

12:00



< 5 SUNTAC



既読
11:58

昨日の新台稼働わかる 🤔 ?



5月1日導入の新台速報です 😊

🎯 パチンコ 🎯

・P サンタック 9QV

アウト:28,940

玉単価:1.98

玉粗利:0.30

🎰 スロット 🎰

すべて見る >

既読
11:59

元ネタはどこから !? 📝



サンタックの公式 LINE 🙌



友だち 募集中。

それ、 本当ですか？



システム横断型業界統計サービス

TRYSEM

トライセム

1
自店の
営業成績が
全国平均に
遠く及ばない。

全国平均よりも著しく低いという判断は正しいですか？ 貴店が参考にしている全国平均はいくつの情報を見て検証していますか？

一般的には、単一よりも複数の専門家に意見を求める方が、より良い判断ができるとされています。

2
新台
導入直後の
稼働実績は、
自店の数字しか
参考にできない。

競合店の実績を確認することは不可能でも、全国平均ならばすぐに確認できるのが自然ですよね？

遊技台の短命化が進んでいる中で、1日でも1時間でも早く他店実績を知ることができれば、自店の新台からより多くの利益を確保できる可能性が高まります。

3
自店
未導入の
中古台は、
確認する情報が
多くて面倒。

全国的な稼働の良し悪し、自店の稼働貢献終了機種との比較、購入時の相場・・・1つのサービスでこれらの情報を確認することはできないのでしょうか？

得られる結果とかけるコストが同じであれば、必要な時間を短縮できる方が良いのは当然です。

これ、TRYSEMなら解決です！

導入されているホールコンピュータに依存しない統計データなので、セカンドオピニオンに最適です。

新台データも翌日11時には公開されるので、知らない店舗に一步先行くアクションが取れます。

全国的に実績の良い自店未導入機種を複数ピックアップし、その中古台取引相場とともに提示します。

無料プランほか6タイプの料金プランをご用意。
詳細については、気軽にお問い合わせください。